国語

漢字の 書き（レベル8）

なまえ

□に 漢字を 書きましょう。

やりかた



はじめて 書く 漢字は、
形を つかむのが たいへんだよね。
知って いる 部分に 分けると、
形が 見えて くるよ。
ゆっくりで だいじょうぶ。

とうげ
峠 を こえる ＝山＋上＋下

① 読みと 前後の ことばで いみを 考える
② 知って いる 部分に 分けて 思い出す

① つぶ □ が 大きい

② かみなり □ が 鳴る

③ すず □ の 音

④ きり □ が 出る

⑤ くも □ り 空

⑥ こわ □ い 話

⑦ か □ れた 葉

⑧ 景色を ながめる

⑨ うで □ を 組む

⑩ と □ まる 家



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。

国語

漢字の 書き（レベル8）

こたえ

□に 漢字を 書きましょう。

ここに 気を つけよう



よく 見ると、「曇」と「雲」の ように、同じ 部分の ある 字と まざる ことが 多いよ。
部分ごとに おてほんと くらべよう。とめ・はね・はらいも 見て みてね。
1つずつ たしかめた 時間が、ちゃんと 力に なって いるよ。

① つぶ 粒 が 大きい

② かみなり 雷 が 鳴る

③ すず 鈴 の 音

④ きり 霧 が 出る

⑤ くも 曇 り 空

⑥ こわ 怖 い 話

⑦ か 枯 れた 葉

⑧ 景色を ながめる

⑨ うで 腕 を 組む

⑩ と 泊 まる 家

このプリントで育つ力：画数の多い常用漢字を、知っている部分に分けて思い出して書く力



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。